

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 小堀 勇人

Hayato Kobori



YouTube

## 11 住み続けられるまちづくりを 観光名所化・地域活性プロジェクトについて

▶ 国や県の補助制度も視野に入れ観光振興に全力を尽くしていく

Q 街中の賑わいを創出するためのルート整備の内容は。

A 桜並木から荒川沿岸、市街地、お丸山、道の駅等、それらの点を線でつなげる観光ルートを作り、地域を周遊できるような滞在型観光を目指したい。



スカイタワー入口付近

Q 老朽化した連城橋の整備は。

A 連城橋の架け替えや、それにつながる県道の拡幅整備については、観光ルートとしても重要な路線であるので県に強く要望していく。



連城橋

Q お丸山に遊具の設置を予算化しているが、スカイタワー周辺の景観を整える考えは。

A スカイタワーの用地取得が完了したのでスピード感をもって対処する。

## 17 防災と防災の取り組みについて

Q 消防団の現状と課題、その対応策は。

A 消防団の一般団員数は10年前と比べて406人から354人と減少している。消防団の担い手確保のため、団員向けのアンケート調査によりニーズを把握し、負担軽減や退団防止策など消防団機能の維持・確保に努めていく。

Q 防災対応での情報収集と情報発信について。

A 令和4年度にウェブ版ハザードマップ、令和5年度に河川カメラの設置、防災情報配信システム（防災アプリ）を導入してきた。また民間の気象会社と契約し、防災情報支援システムも導入している。



角田 憲治 議員  
Kenji Kakuta



YouTube

8 選挙の仕組み 選挙関係 市長の選挙公約と所信表明について

▶ 限定的な地域を強調する結果を反省

- Q 「取り戻そう氏家」というスローガンの趣旨は。
- A 多くの市民が日々の生活に不安を抱える中で、元気を取り戻そうという意味であるが、限定的な地域を強調する結果となったことを反省し、今後、首長としての言動には様々な配慮をしたい。

Q トップダウンからボトムアップ型への組織運営の転換のための方策は。

- A オンライン申請ツールやSNSのアンケート機能を利用して市民の声を吸い上げ、反映できるよう検討する。また市役所内の幹部や若手を問わず、率直に意見を聞くよう心掛けたい。

Q ボトムアップ型の組織運営に関して、例えば課長会議の復活など、より具体的な方策について伺いたい。

- A 建設的な意見交換ができるような場であれば、課長を一堂に会する会議も取り入れていきたい。



16 行政の仕組み 市民生活 桜市職員の守秘義務について

Q 守秘義務の厳守のためにどんな対策が取られているか。

- A 全職員に対して法や公務員倫理に関する研修を行うとともに、業務に応じて情報セキュリティ研修等の必要な研修を実施している。また、個人番号を扱うパソコンへのアクセス制限を行っている。

Q 守秘義務違反の場合の対応について。

- A 人事院が定める懲戒処分の指針に準じて、違反した職員を処分することとしている。責任が重大な場合には、警察への告訴・告発、被害届により、刑事罰をもって責任を問うこととしている。

Q 過去の市長選の立候補者に関する税金滞納の情報が流布された件に関して、守秘義務違反としての調査を行う余地はあるのか。

- A 過去の事案であっても、流布された内容に税目等の詳細な情報が含まれていることが明確である場合には、当該情報の流出に関して調査することもあり得る。



若見 孝信 議員  
Takanobu Wakami



YouTube

8 選挙の仕組み 選挙関係 市長選挙の投票率について

▶ 広報による情報発信を強化する

- Q 今回の市長選挙は過去2番目に低い投票率となったが、今後の対策について問う。
- A 有権者の政治に対する関心が低下していることが投票率低下の原因であると考えており、強い危機感を持っている。SNS他多様な媒体を活用した広報による情報発信を強化していきたい。また、子どもに対する主権者教育にも力をいれていきたい。

Q 各地区によって投票率に格差が存在する中で、全体的な投票率の底上げのために投票所の見直しや増設の検討をしてはどうか。

- A 近隣自治体においても人口減少に伴う投票所の統廃合が進むなかで、投票所のこれ以上の増設は難しい状況であるが、現状の投票所数は維持できるように努力していきたい。



8 選挙の仕組み 選挙関係 市政運営について

Q 今後4年間でさくら市政をどのように進めていくのか。公約や施策の具体化について問う。

- A さくら市改革プランの6項目について、任期中にすべての具体的施策が実現できると考えてはいないが、実現可能な施策や事業を増やしなが、それらを着実に実施し、さくら市にいつまで住み続けたい、新たにさくら市に住みたいと思える方を少しでも増やすことを考えていきたい。

Q 市長の施策は市内の分断を生む内容があると考えられる。特定の地域の市民にのみ利益がある施策が多く、市全体にとって公平といえないと思うが。

- A ご指摘のとおりであるが、行政において必ず生じる課題である。今後の市政運営にあたり、より多くの市民に受け入れられるよう取り組んでいきたい。



氏家駅周辺(開発予定地)



永井 孝叔 議員  
Takayoshi Nagai



YouTube

3 福祉の充実について

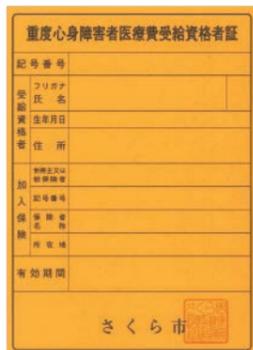
▶ 積極的に取り組む

Q 本市の福祉の現状課題を今後どのように改革改善するのか。

A 高齢者、障がい者、児童福祉等の政策は最重要政策と考えている。  
・高齢者支援は地域包括ケアシステム関連事業所と各種支援等の充実を図る。  
・障がい者支援は丁寧な相談支援を実施し各種支援策を充実させる。  
・子ども施策は子ども食堂、放課後児童クラブの確保等支援、整備などを引き続き積極的に取り組む。

Q 重度心身障害者医療費助成制度を償還払い方式から「※現物給付」方式に改めるべきでは。

A 障がい者や家族の負担軽減を図ることができる現物給付方式に切り替えるよう関係機関と調整し、その他具体的な事務手続等など作業工程の確認を行い、現物給付実施に向けて努力する。



重度心身障害者医療費受給資格者証

11 産業団地の開発について

Q 蒲須坂産業団地開発の今後のスケジュールは。

A 今年度末までに栃木県に対し、開発要望書を提出すべく準備を進めている。

Q 県への要望書提出までに労力的な問題と技術的な課題を現在の体制で不備はないか。

A 庁内プロジェクトチームを立ち上げ、事業推進を図っている。商工観光課職員が兼務していたが、今年4月からは専任となり、農政課のスペースにも職員を配置、産業団地推進室を新たに設置し、人員的な配置に問題がないか検証し、精一杯進める。



産業団地推進室

その他の質問

◆ 選挙公約について

※ 現物給付

医療費を窓口で立て替えることなく、自治体から全額医療機関に支払われること。

総務常任委員会

日時 令和7年5月13日(火)～15日(木)



詳細はこちら

神奈川県小田原市

「移住・定住施策の取り組みについて、ふるさと納税について」

小田原市は、移住希望者向けオンラインコミュニティ「オダワラボ コミュニティ」を開設し、移住についての相談や困りごとに対して、先輩移住者等と気軽に相談や情報交換ができる場となっています。また紹介者と移住者の双方にインセンティブを付与する移住制度を作り、着実に効果が出ています。

感想

実際に移住・定住し、生活する上で一番重要となるコミュニティ・人とのつながりの部分を強化していくことはとても大切な視点であると感じました。



小田原ブック

静岡県富士市

「DX・テレワーク推進事業と新富士駅シェアオフィスについて」



フリーアドレス化された富士市役所5階

富士市は、基幹産業である製造業のテレワーク化が課題でしたが、これをチャンスと捉え、「テレワーク先進都市」の実現を目指し、市内事業所のテレワーク導入促進やテレワークを実施する企業の誘致、テレワーカーの受け入れ等に繋げるため「富士市テレワーク推進ロードマップ」を策定しました。

感想

①多様な働き方を展開することで「働き手」を獲得する  
②可能な限りDX化を行い、少人数で運営を維持できる企業を確立させる  
2つの効果があったと感じました。



静岡県沼津市

「沼津市リノベーションまちづくりについて」

沼津市は、「リノベーションまちづくり推進ガイドライン」を策定し取り組んできた結果、これまでに多くの事業が創出され、地域の活性化や魅力向上に繋がっています。公共施設をリノベーションした泊まれる公園「INN THE PARK 沼津」の現地調査を行いました。

感想

公民連携型リノベーション活動は、民間主動により進めることが成功の鍵であると理解を深めることができました。



INN THE PARK 沼津

## 文教厚生常任委員会

日時 令和7年5月14日(水)～16日(金)



詳細はこちら

### サイバーデザイン 📍 茨城県つくば市 「装着型サイボグの介護補助体験について」

CYBERDYNE(株)のHAL®(Hybrid Assistive Limb®)は、身体機能を改善することができる世界初の装着型サイボグです。HAL®を腰部に装着し、動作アシストを体験しました。



装着型サイボグ HAL®

**感想** 当市でも、フレイル予防の体操用や、脳梗塞等の後遺症からのリハビリ用、介護現場での腰痛防止として、導入の検討を積極的に行ってほしいと感じました。

### 📍 茨城県鹿嶋市 「いきいきゆめプール(学校用プールと市民プールを兼ねた屋内温水プール)について」



いきいきゆめプール

いきいきゆめプールは、平日の午前中に市内小中学校の水泳授業を行い、土・日曜日や平日の午後に市民プールとして活用する屋内温水プールです。今後市に建設される屋内温水プールの参考として視察を行いました。

**感想** 建設や運営方法など、学校プール兼用の屋内温水プールの建設に向けた課題の参考となりました。

### 📍 千葉県松戸市 「こども誰でも通園制度について」

国が令和8年4月の本格実施を目指している「こども誰でも通園制度」について、松戸市では5つの保育所等の施設で実施しています。当市では9月に実施を予定しているため、先進地の視察を行いました。



**感想** 保育士確保の対策やアレルギーのある子への具体的な対応など、大変参考になりました。

### 📍 神奈川県横須賀市 「横浜F・マリノスと地域の連携について」



F・マリノススポーツパーク

横須賀市では、「横浜F・マリノス」と連携した取り組みや、「よこすかの街をトリコロールに」など地域が一体となって応援する街づくりを行っています。栃木SCとの地域連携の参考事例として視察を行いました。

**感想** 消防団詰所をマリノスカラーで壁面塗装するなど、地域が一体となって応援する街づくりを感じました。

## 建設経済常任委員会

日時 令和7年5月14日(水)～16日(金)



詳細はこちら

### 📍 宮城県石巻市 「道の駅上品の郷について」

道の駅上品の郷は、じゃらん道の駅の満足度ランキング「全国道の駅グランプリ2022」で全国第2位を獲得しました。宮城県の道の駅では唯一の温泉保養施設があり、非日常の癒しと安らぎの空間と日常の食に関するこだわりの農産物の提供に取り組んでいます。



**感想** 「道の駅きつれがわ」の運営に活かしたいと感じました。



JA大曲厚生医療センター(地域中核病院)

### 📍 秋田県大仙市 「大曲駅前開発について」

大仙市では、都市機能集約による人口減少社会に適応したまちづくりに取り組んでいます。JR大曲駅前に地域中核病院、子育て支援施設等の都市機能を集約し、新たな人の流れを創出しています。



**感想** 事業費補助金(支援金)の獲得など、本市の政策に活かしたいです。

### 📍 宮城県企業局 「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」について

全国的に水道事業においては、人口減少による収入減、技術人材確保、老朽化による更新費用の増大等、厳しい経営環境となっています。宮城県企業局では、それらの課題について、効率化を図るだけでは将来の料金上昇は避けられないと考え、持続可能な水道経営を確立するため、「官民連携」により民の力を最大限活用した「宮城県上工下水一体官民連携運営事業(みやぎ型管理運営方式)」を令和4年4月から始めました。



**感想** 規模は全く違いますが、先進モデルとして本市の上下水道事業に活かしたいです。

# 議会レポート

## 県市議会議長会議

4月8日  
・笹沼 昭司 議長  
・加藤 朋子 副議長

## 関東市議会議長会定期総会

4月17日  
・加藤 朋子 副議長

## 全国温泉所在都市議会議長協議会総会

5月19日  
・岡村 浩雅 議長

## 全国市議会議長会定期総会

5月20日  
・岡村 浩雅 議長

## 県北五市議会議長会

5月27日  
・岡村 浩雅 議長  
・加藤 誠一 副議長

## 塩谷市町村議会議長会

6月26日  
・岡村 浩雅 議長

## 各種委員会等出席

●塩谷広域行政組合議会全員協議会・臨時会

5月21日  
・岡村 浩雅 議長  
・大河原 千晶 議員  
・石岡 祐二 議員  
・鈴木 恒充 議員  
・角田 憲治 議員

## 監査

●例月現金出納検査  
4月25日・5月27日・  
6月30日  
・福田 克之 議員

●決算審査  
6月30日  
・福田 克之 議員

## 視察等来訪

4月8日  
滋賀県甲賀市議会の議員  
1名が「ドローンチームの  
創設背景と実績、課題」に  
ついて視察に訪れました。

4月22日  
奈良県五條市議会議会運  
営委員会の委員ほか8名  
が「自治会加入対策と議  
会運営」について視察に  
訪れました。

5月28日  
押上小学校社会科見学

## 表彰状

●全国市議会議長会表彰  
・福田 克之 議員  
・石岡 祐二 議員



●全国市議会議長会  
社会的な孤独・孤立問題  
に関する特別委員会委員  
感謝状  
・笹沼 昭司 議員

# どうなったんべ あの質問は



議員が行った一般質問は、市政にどの  
ように反映されているのでしょうか。  
これまでの質問の中から取り上げて、  
その後の状況をお知らせします。

## 「不登校支援」

令和3年 第4回定例会  
令和5年 第3回定例会  
令和6年 第4回定例会

### 以前は…

さくら市では、不登校の児童生徒への支援策として、市内および  
近隣市町に無料の適応指導教室(現在は適応支援教室)を設置し、  
学習や生活面のサポートを行い、社会的自立を促してきました。  
適応指導教室では、個々の状況に応じた指導を行い、学校復帰や  
社会への適応を目指してきました。

### 現在は…

さくら市は、多様な学びの場の選択肢を広げ、子どもたちの社  
会的自立を後押しするため、令和7年度からフリースクール等  
の利用料助成金交付事業を開始しました。  
不登校児童生徒の保護者で、同一年度内に本事業の助成を受  
けていない方を対象に、月額最大1万円の補助金を支給し、経  
済的負担を軽減いたします。  
助成制度の導入により、市内すべての子どもたちが経済的理由で学びの機会を失  
わないよう配慮し、一人ひとりに合った教育環境を提供していきます。  
この取り組みにより、不登校の子どもたちが安心して学び、将来に向けた自信を育  
むことを目指してまいります。なお県内自治体では、県含め初の制度化となりました。

## フリースクール等 利用料助成金



月ごとの利用料を助成します。



詳細はこちら

# 議会の動き

## 4月

- 1日 辞令交付式
- 4日 議会広報委員会
- 8日 滋賀県甲賀市議員視察来訪  
栃木県市議会議長会議  
市立中学校入学式  
栃木SCトップチーム練習環境整備事業地鎮祭
- 9日 市立小学校入学式
- 10日 議会広報委員会
- 16日 県都市監査委員会決算審査
- 17日 関東市議会議長会定期総会
- 18日 さくら市いきいきクラブ連合会総会
- 20日 きつれ川商工まつり
- 21日 委員長会議
- 22日 奈良県五條市議会議会運営委員会視察来訪  
さくら市遺族会総会
- 23日 花塚市長退任式
- 24日 中村市長就任式  
さくら市選挙管理委員会委員及び同補充員の推薦委員会  
議員協議会
- 25日 例月現金出納検査  
議会広報委員会
- 28日 栃木県戦没者合同慰霊祭
- 29日 さくら市ミュージアム友の会総会
- 30日 議員全員協議会  
議会運営委員会  
第2回臨時会

## 5月

- 3日 加須市民平和祭
- 7日 議会運営委員会  
さくら市区長会総会
- 8日 さくら市ソフトボール協会総会
- 13日 総務常任委員会行政視察研修(～15日)  
「社会を明るくする運動、栃木県推進委員会  
文教厚生常任委員会行政視察研修(～16日)  
建設経済常任委員会行政視察研修(～16日)
- 14日 全国温泉所在都市議会議長協議会総会
- 19日 全国市議会議長会定期総会
- 20日 塩谷広域行政組合議会全員協議会・臨時会
- 21日 議員全員協議会  
議会運営委員会

## 5月

- 22日 第3回臨時会  
議会活性化特別委員会  
荒川河川改修同盟会監査
- 23日 さくら市国際交流協会通常総会  
喜連川商工会通常総会
- 24日 市立中学校運動会
- 26日 氏家商工会通常総会及び優良社員表彰式
- 27日 議会運営委員会  
委員長会議  
例月現金出納検査  
蛭田喜連川線改修促進期成同盟会監査  
大田原氏家線改修促進期成同盟会監査  
県北五市議会議長会
- 30日 国立きぬ川学院園遊会
- 31日 市立保育園運動会

## 6月

- 5日 議員全員協議会  
第2回定例会開会  
議会広報委員会
- 6日 第2回定例会一般質問
- 9日 第2回定例会一般質問
- 10日 公益財団法人氏家法人会さくら支部全体会議
- 11日 文教厚生常任委員会
- 12日 建設経済常任委員会  
氏家観光協会通常総会  
総務常任委員会
- 13日 さくら市消防団夏季点検
- 14日 予算決算常任委員会
- 16日 塩谷市町村議会議長会監査  
さくら地区防犯協会総会
- 18日 議会報告会検討委員会  
議会活性化特別委員会  
喜連川観光協会通常総会
- 20日 議員全員協議会  
議会運営委員会  
第2回定例会閉会  
議会報告会運営会議  
塩谷市町村議会議長会
- 26日 栃木SC さくら市民デー
- 28日 決算審査
- 30日 例月現金出納検査

市民の声

## 楽しく踊ろう！

Bloom

代表 大島 早苗 (蒲須坂)



Bloomは踊ることが大好きな、小学生から高校生までの子どもたちが集まったダンスチームです。『楽しく踊る』をモットーにおもしろイケメンA2C先生あつしの指導の下、月に3回市内の施設で活動しています。

Bloomはダンスを始めてみたいけど、ちょっとハードルが高いと感じている方に気軽に始めていただけるようなダンスチームです。誰でも始める時は初心者です！いつでも遊びに来てください。コロナ禍が過ぎ、ようやく以前のようなイベントが開催されるようになり、出演する機会が多くなりました。練習や発表で見せる子どもたちの生きいきした表情は、私たちを幸せな気持ちにしてくれます。これからもダンスを通じて子どもの笑顔や成長を感じ取りながら、先生や保護者の方々と共に楽しく活動を続けていきたいと思っています。

市議会の皆様には、そんな子どもたちの笑顔があふれる場所(環境)を整えていただけますようお願い申し上げます。



《表紙写真》

Bloom

対象：どなたでも  
(要相談)内容：HIPHOP、  
K-POPダンス

お問い合わせ：

代表 大島(インスタグラムDMより)

議会だよりでは、表紙写真のモデルになってくださる団体を募集しています。  
ご興味がある方は右記さくら市議会事務局までお問い合わせください。



BLOOM\_SAKURA2022

さくら市議会報告会  
2025

日時 10月20日(月) 午後6時30分～8時00分

場所 喜連川公民館

内容 議会からの報告および意見交換

※事前申込制

詳細はホームページをご覧ください。

問合先 議会事務局 ☎028-681-1123



詳細はこちら

次回

9月定例会予定 9月3日(水)～9月26日(金)

一般質問 9月4日・5日・8日

◎正式な日程は、議会運営委員会にて決定いたします。



さくら市議会ホームページ